

Contents

I 古代ギリシャ

1. 古代ギリシャの音楽の考え方
2. 古代ギリシャの音楽理論

II 中世・ルネサンス

3. 中世・ルネサンス音楽とは？
4. ヨーロッパの芸術音楽の源泉
5. 多声音楽のはじまり
6. 典礼音楽としてのミサ曲の誕生
7. 中世のシンガーソングライター
8. ルネサンス音楽の「甘美な響き」
9. 複雑な譜面から生まれる美しい響き
10. ルネサンス音楽の巨匠
11. ルネサンス音楽の円熟
12. ルネサンス音楽の異端児
13. 新しい音楽時代の予兆

III バロック

14. バロック音楽とは？
15. オペラのはじまり
16. バロック時代の「新しい音楽」
17. ヨーロッパ各地に広がるオペラ
18. 器楽の協奏曲のはじまり
19. 鍵盤音楽の多彩な世界
20. ウィーンのバロック音楽
21. プロテスタントの教会音楽
22. ヴィヴァルディの本業は司祭？
23. 『四季』の人気の秘密
24. 国王への不義理を詫げるヘンデル？
25. 国王が起立した合唱曲とは？
26. よりよい職場を求めたバッハ
27. 愛妻家のバッハ
28. 多忙をきわめた合唱長
29. バッハは「大海」？
30. バッハと現代

IV 古典派

31. 古典派の音楽とは？
32. バッハの息子たち
33. モーツァルトを育てたザルツブルク
34. ハイドンはどうして「パパ・ハイドン」？

35. チャレンジ精神旺盛なハイドン
36. モーツァルトを刺激したハイドン
37. ヘンデルの影響を受けたハイドン
38. モーツァルトの父は教育パパ？
39. 旅に明け暮れたモーツァルト
40. モーツァルトの宮廷務め
41. ウィーンの売れっ子スター
42. 未完となった『レクイエム』
43. ピアニストとしてのベートーヴェン
44. ベートーヴェンの遺書
45. ベートーヴェンの個性的な交響曲
46. ベートーヴェンの「第9」
47. ウィーン古典派の「黒幕」

V ロマン派

48. ロマン派の音楽とは？
49. 詩とピアノが描くロマン派の世界
50. オーケストラが描くロマン派の世界
51. 室内楽が描くロマン派の世界
52. オペラが描くロマン派の世界
53. ウィーンで人気のイタリア・オペラ
54. バッハの復活
55. 結婚式の音楽といえば…
56. 音楽の言葉遊び
57. 歌曲の年
58. 「ファンタスティックな世界」を描いた交響曲
59. ピアノの詩人
60. バリのサロンの寵児
61. ピアノの達人
62. 交響曲と詩をひとつに！
63. 「総合芸術」としてのオペラ
64. 「ステータス」としてのクラシック音楽
65. 遅咲きとなった『交響曲第1番』
66. いくつもの楽譜が存在する交響曲
67. ウィーンのポピュラー音楽
68. フランスの国民音楽を！
69. バリの喧騒とスペイン情緒
70. チェコの国民音楽の戦士
71. 「新世界」とはどんな世界？
72. ロシアの国民主義音楽の誕生
73. 交響曲『悲愴』の真の悲愴とは
74. イタリア・オペラの黄金時代

75. 北欧の国民音楽
76. ヨーロッパ精神となった交響詩
77. 世紀末の音楽芸術
78. 千人の交響曲
79. オペラのなかのエキゾチシズム
80. 最後の作曲家兼ピアニスト
81. 神秘を追求する音楽
82. 心の奥底を描く音楽
83. 音の色彩を探究する音楽
84. センセーションを巻き起こした音楽

VI 現代

85. 現代音楽とは？
86. 仮面の作曲家
87. 古に回帰する音楽
88. 12の音による作曲とは？
89. 上演禁止になったオペラ
90. 現実社会を描くオペラ
91. ナチス時代の音楽家
92. 作風を变幻自在に変える作曲家
93. 農民音楽から芸術音楽へ
94. 社会主義と音楽
95. 第二次世界大戦後の新しい音楽の芽生え
96. 偶然性の音楽
97. 必然と偶然の狭間で
98. 新しい音響へのチャレンジ
99. 第二次世界大戦の悲劇と音楽
100. 21世紀に向けて

もうひとつの音楽史

- ① 音楽のしくみを知る
- ② 音楽を教える
- ③ 音楽を聴く
- ④ オーケストラの成立
- ⑤ 音楽の職業
- ⑥ 日本のクラシック音楽

年表／音楽家人名索引／その他の人名索引／
掲載曲索引